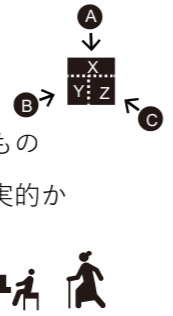


複合化

- ・どんな機能を複合すれば常に稼働するか、市民に利用してもらえるかという視点が重要
- ・複合的な施設を造ってほしいが、現施設での各室稼働率を洗い出し、いらぬものは削り、必要なものを加えるという検討が必要
- ・展示機能（展示室）の充実を図ってほしい
- ・建物種別として展示室とホールは別であり、多くの場合において展示室は美術館・博物館等が担うもの
- ・専用の展示室というよりは会議室等と兼用のほうが現実的か
- ・リハーサル室を会議室としても利用したい
- ・今よりもっと多目的に使える会議室の検討を



日常的な利用

- ・ホールの建設時には、利用経験に差があることから、「全ての人が利用するわけではないのに、なぜそんなにも予算を使う必要があるのか」という議論がよく出る
- ・催事がない日はシャッターが閉まり、寂しく感じるので、見て楽しめる要素などがあると良い
- ・日常的な利用を通じて、ホールの催事に対する関心を喚起することが大事
- ・催事がない時にどういう開放の仕方があるか考える必要がある
- ・おのずと人が集まるようなエントランス広場



立地・敷地

- ・新たなホールの面積は現状よりも大きくなる
- ・搬入などを考えた道路との接続
- ・瞬間的な人の動きを吸収できるよう、駐車場や広場など、土地のゆとりをどれだけ確保できるかがポイント
- ・高齢化等を考えると、交通の便の良い立地にすべき
- ・敷地によって設計上工夫できることが変わる



オリジナリティ

- ・文化ホールの性質は、多目的に使えるものやオーケストラ等に専用特化したものなど幅があり、施設でどうまちづくりをしていくのかという考え方で、施設の性能等が変わってくる
- ・自治体ごとのオリジナル性をどれだけ練り上げられるかということが求められる
- ・今後の事例紹介では、良い部分を参照しつつ、自分たちの個性・固有の課題が何なのかという見方で議論していく必要がある



シンボル性

- ・まちに対する環境をデザインすることが大事
- ・ランドマークになるような施設
- ・街のシンボルとして、市民の期待に応える建物
- ・（エスコンフィールドのような）建物自体に魅力がある施設
- ・この街にこの建物があったよかったと思える施設



コンベンション

- ・コンベンション機能があることで経済効果を見込める
- ・コンベンションで来た方に旭川の良い所を知ってもらえる
- ・現文化会館の立地には、1,000人規模のコンベンションを誘致できるくらい、周辺のホテルが揃っている



ホール機能

- ・大きな議題となるのはホールの座席数（現施設の大ホールは約1,500席）
- ・演奏家としてこのホールで演奏・レコーディングしたいと思える音響設備
- ・現状の稼働率は音楽の割合が高いので、良い音楽を良い環境で聴けることが大事
- ・客席数を可変式にするなど、現在公会堂が担う中ホール機能の継承も考える
- ・可変式客席・平土間にして避難所等にも利用可能に
- ・音響や使い勝手の良いホールにすることで、色々な団体が集まってくると良い



道北の中心としての施設

- ・道北における文化の大きな基盤
- ・周辺自治体の稼働率の低いところ、割に合わないものを担うとすれば、相当の覚悟が必要になる
- ・現施設と同程度の規模の文化施設が、周辺の市町村にはない。周辺の市町村の分も担うという気持ちで造るのかどうか



予算

- ・イニシャルコストは、1,500席の大ホール単独施設で100億円程度、1,800~2,000席の大ホール+会議室等で130~150億円程度、本日意見のあったアイデアを全て実現しようとする200億円以上になると見込まれ、また建設費は年々上昇傾向にある
- ・イニシャルコストに費用をかけることで、ランニングコストを圧縮できる部分もある
- ・全ての要望を積み上げていくわけにはいかないので、このまちのコンセプトとして、何を優先的に考えるのかを決めることが大事
- ・ソフト面でもハード面でも無理のない構想
- ・公共性を維持しつつ、財政負担も考慮した整備手法・運営手法を考える必要がある



インクルーシブ

- ・車での移動が不便ということもあり、雨が降ったら行くのをやめようと思っていた
- ・年齢や性別、身体能力によらず誰でも立ち寄りやすい居場所とすることが大事
- ・特に若い世代の人たちが気軽に行ける場所
- ・聴覚障害のある方への対応機能やサービス
- ・従来のアプローチを打破し、視覚・聴覚障害のある方が美術・絵画・彫刻を楽しめるデザイン
- ・災害時の避難場所になるなど、全ての人が使える要素が入っていると良い



文化醸成

- ・文化芸術は楽しむもの、自己成長のためのもの
- ・旭川市文化芸術振興条例を吟味し、新施設との整合性をとる必要があるのでは
- ・この建物があったからこそ旭川の文化が深まったと思えるような施設
- ・旭川の文化を育む
- ・音楽、芸術の足がかりとなるような施設

